



2020年4月13日

各位

会社名 株式会社フーバーブレイン
代表者名 代表取締役社長 興水 英行
(コード: 3927 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 石井 雅之
(TEL. 03-5210-3061)

2020年3月期通期業績見込みと前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の業績予想は開示しておりませんが、当該期通期業績見込みと前期実績値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期業績見込みと前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A) (2019年3月期)	百万円 909	百万円 16	百万円 21	百万円 23	円 銭 5 49
当期業績見込み (B) (2020年3月期)	1,047	未定	未定	未定	未定
増減額 (B - A)	138	未定	未定	未定	
増減率 (%)	15.2	未定	未定	未定	

2. 差異の理由

(1) 売上高

積極的な営業活動が奏功し、既存販売代理店における販売増及び新たに販売代理店契約を締結したOA機器販売会社等の販売実績が増加した結果、アンチマルウェア及び業務管理関連製品及び業務管理サーバー製品の売上高が前期より上回る見込みとなりました。

(2) 営業利益、経常利益、当期純利益

営業利益、経常利益、当期純利益は、現段階では「未定」としておりますが、上記(1)のとおり、売上高増加に伴う売上総利益の増加はあるものの、さらなる企業価値の向上を実現するため、新規販売代理店拡充への注力及び組織体制の強化を掲げ、営業及び技術開発部門の計画的な増員の実施に伴い、販売費及

び一般管理費が増加した結果、赤字となる見込みであります。

また、2020年3月度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、アンチマルウェア及び業務管理関連製品をはじめとする当社従来製品群の一部地域における営業活動が停滞することとなり、企業におけるセキュリティニーズは堅調を維持しているものの、一時的に売上高が目標値を下回ったことに伴う売上総利益の減少も影響しております。

一方、企業の「働き方改革」「テレワーク」対応をサポートするサービスである「Eye “247” Work Smart」の需要拡大、さらには、2020年3月4日付公表「株式会社エルテスとのテレワークを推進する製品・サービスに係る業務提携に関するお知らせ」等のおおりの、複数社と「テレワーク」を推進する製品・サービスの開発及び顧客開拓等に係る業務提携等を締結しており、2021年3月期では、「働き方改革」「テレワーク」製品・サービスの開発及び販売活動により注力し、株主・投資家の皆様のご期待にそえるよう努めてまいります。

(注) 上記の通期業績見込みは、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、会計監査人の監査を受けておりません。実際の通期業績は見込み数値と異なる結果となる可能性があります。

以上